

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin-left: 20px; margin-top: 20px;">評価結果</div>	施工管理が優れている ● 評価対象項目 1 契約約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行っていることが確認できる。 2 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 3 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 4 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。 5 工事材料の品質に影響がないよう工事材料を保管していることが確認できる。 6 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 7 建設副産物の再利用への取り組みを行っていることが確認できる。 8 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 9 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。 10 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 11 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 12 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 13 その他 [理由 :]	施工管理がやや優れている	他の評価に該当しない 評価 該当 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	施工管理がやや劣っている [施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	施工管理が劣っている [施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		● 判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・・ b 評価値が80%未満・・・・・・・・・ c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝ 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>			

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形 及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 共通	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている	
I 出来形	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~bcに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 写真管理基準の管理項目を満足している。 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 その他 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 理由：<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 						<p>該当 <input type="checkbox"/></p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		<p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものである。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 最終の請負代金額が500万円未満の工事及び出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>							
		※ばらつきの判断は別紙-4参照。							

審査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	機械設備工事 ※ 上記欄によらず、当該欄で評価 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 30px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている		
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 掘付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足していることが確認できる。 その他 						評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<p>● 判断基準</p> 評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・ ab 評価値が70%以上80%未満・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・ bc 評価値が60%未満・・・ c						<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％ ）＝ 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																									
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事 通信設備工事受 変電設備工事	出来形管理が優れている	出来形管理がbより優れている	出来形管理がやや優れている	出来形管理がcより優れている	他の評価に該当しない	出来形管理がやや劣っている	出来形管理が劣っている																									
I 出来形	※ 上記欄によらず、当該欄で評価 評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 2 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 3 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 4 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 5 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 6 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 7 設備の据付、固定方法を、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 8 配管及び配線を設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 9 行先などを表示した名札を、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けていることが確認できる。 10 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 12 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足していることが確認できる。 13 その他 { 理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> 					<p>評価 該当</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td><td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table>																									<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																													

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		● 評価対象項目					評価 該当		
		1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		5 コンクリート一層の打設厚さは50cm以下で均等圧に連続して打設されていることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		6 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		7 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		8 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		9 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		10 コンクリート打設までに、さび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		11 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		12 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		13 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		14 スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		15 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		16 その他 { 理由： }					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		● 判断基準							
			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			
			50%以内	80%以内	80%超				
評価値	90%以上	a	ab	b	b				
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc				
	60%以上75%未満	b	bc	c	c				
	60%未満	bc	c	c	c				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。							
		① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。							

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	土工事 (切土, 盛土, 堤防等工 事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																												
II 品質		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 検査 員が修補指示を行っ た。																												
評価結果		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 雨水による崩壊が起こらないように, 排水対策を実施していることが確認できる。 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 置換えのための掘削を行うに当たり, 掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 1層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 土羽部の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 法面に有害な亀裂がない。 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 掘削 (切土) 部法面の浮き石・木根等が適切に除去されていることが確認できる。 その他 <p style="margin-left: 20px;">理由: []</p>					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																													
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 () (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
注		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。																																		

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																											
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。					ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
II 品質	評価結果	● 評価対象項目 1 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 2 裏込材及び胴込めコンクリートの締めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 3 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結を、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 4 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 6 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9 護岸（ブロック・擁壁）の打ち継ぎ面は清掃され湿潤な状態（水洗い等）が確認できる。 10 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 11 基礎工において掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。 12 コンクリートブロック等を損傷なく施工していることが確認できる。 13 施工にあたって、床掘箇所の水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 14 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。） 16 矢板護岸の品質等が確認できる。 17 矢板護岸の打ち込み等施工状況が確認できる。 18 その他 [理由：]					評価 該当 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []																												
		● 判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみを選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以内	80%以内	80%超																																
90%以上	a	ab	b	b																															
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																															
60%以上75%未満	b	bc	c	c																															
60%未満	bc	c	c	c																															
注		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																	

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形 及び出来ばえ II 品質	鋼橋工事（RC 床版工事はコン クリート構造物 に準ずる。） 評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 5px auto;"></div>	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。						ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。	
● 評価対象項目									
【工場製作関係】									
1 鋼材の種類を，品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。									
2 溶接作業にあたり，作業員の技量確認を行っていることが確認できる。									
3 溶接作業にあたり，溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。									
4 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。									
5 孔空けによって生じたくれが削り取られているなど，きめ細やかに製作していることが確認できる。									
6 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。									
7 塗装作業にあたり，塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。									
8 素地調整を行う場合，第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。									
9 塗料の空き缶管理について，写真等で確実に空であることが確認できる。									
10 塗料の品質が出荷証明書，塗料成績表により，製造年月日，ロット番号，色彩，数量が確認できる。									
11 その他 { 理由： <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>									
【架設関係】									
12 ボルトの締付確認が実施され，記録を保管していることが確認できる。									
13 ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。									
14 高力ボルトの締め付けを，中心から外側に向かって行っていることが確認できる。									
15 高力ボルトの品質が，証明書類で確認できる。									
16 支承の据付で，コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切り勾配がついていることが確認できる。									
17 架設にあたって，部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。									
18 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質，性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。									
19 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。									
20 現場塗装において，温度，湿度，風速等の確認を行っていることが確認できる。									
21 その他 { 理由： <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>									
評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>									
● 判断基準									
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能				
		50%以内	80%以内	80%超					
評 価 値	90%以上	a	ab	b	b				
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc				
	60%以上75%未満	b	bc	c	c				
	60%未満	bc	c	c	c				
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									
① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。									

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地滑り防止工事(集水井工事を含む)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。
評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div>		● 評価対象項目 【共通】					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており, コンクリートの品質(強度, w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応制御等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており, 温度, スランプ, 空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が, 当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		5 運搬時間, 打設時の投入高さ, 締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が, 施工条件および気象条件に適しており, 定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		6 コンクリートの圧縮強度を管理し, 必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		7 地山との取り合いを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		8 鉄筋及び鋼材の品質が, 証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		9 有害なクラックが無い。(有害なクラックとは, 進行性があり, 放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		11 その他 { 理由: } <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		【砂防構造物に適用】							
		12 コンクリート打設までに, さび, だろ, 油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		13 鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		14 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		15 アンカーの施工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		16 ボルトの締付確認が実施され, 記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		17 ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		18 その他 { 理由: } <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
		【次項あり】							

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地滑り防止工事(集水井工事を含む) 【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】</p> <p>19 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>20 ライナープレートの組み立てにあたり、偏芯と歪に配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>21 ライナープレートの地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p>22 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正になるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p> <p>23 材料の品質及び形状が設計図書との適正確認ができ、証明書が整備されている。</p> <p>24 材料挿入後の管内清掃行為が確認できる。</p> <p>25 その他 { 理由 :</p>					評価 該当																														
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値() (%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p>		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																			

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形 及び出来ばえ	舗装工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。	
		● 評価対象項目 【路床・路盤工関係】 1 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 2 路床工及び路盤工のブルーフローリング試験を行っていることが確認できる。 3 路床工及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 5 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 6 路床盛土において、1層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 7 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めを、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 8 その他 [理由：]					評価 該当 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []		
		【アスファルト舗装工関係】 9 適切な配合設計及び品質管理等が出来るアスファルトプラントで生産された製品であることが確認できる。 10 アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練の結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 11 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 12 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 13 舗装後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 14 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 15 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 17 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 18 その他 [理由：]					[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []		
		【次項あり】							

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ	舗装工事【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <p>19 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。</p> <p>20 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。</p> <p>21 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>22 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>23 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>24 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>25 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</p> <p>26 チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないように保管していることが確認できる。</p> <p>27 鉄筋はコンクリートの中央位置へ配置していることが確認できる。</p> <p>28 その他 [理由 :</p>					評価 該当																														
		<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																			

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																																																																														
3 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																																																																														
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				<input type="checkbox"/> ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																																																																																														
		● 評価対象項目 【共 通】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 75%;">施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">評価</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">該当</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>施工に際して，品質に害となる施工面の浮き石等やごみ等を除去してから施工していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>盛土の施工あたり，法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>雨水による崩壊が起こらないように，排水対策を実施していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>使用材料（肥料・種子・セメント等）の使用量（空袋数等）が確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>その他 } 理由：</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 【種子吹付工，客土吹付工，植生基材，吹付工関係】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">8</td> <td style="width: 75%;">土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</td> <td style="width: 5%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width: 5%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>吹付厚さが均等であることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>その他 } 理由：</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">15</td> <td style="width: 75%;">使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td style="width: 5%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width: 5%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>金属の重ね幅が，10cm以上確保されていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>金属が破損を生じていないことが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>吸水性の吹付面において，事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>吹付厚さが均等であることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>吹付厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>法肩の吹付にあたり，地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>ネット（金網等）の留めアンカーの打ち込みは十分に固定されている。</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>その他 } 理由：</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>					1	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。	評価	該当	3	施工に際して，品質に害となる施工面の浮き石等やごみ等を除去してから施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	盛土の施工あたり，法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	雨水による崩壊が起こらないように，排水対策を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	使用材料（肥料・種子・セメント等）の使用量（空袋数等）が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8	土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9	ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	吹付厚さが均等であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12	使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15	使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16	金属の重ね幅が，10cm以上確保されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17	金属が破損を生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18	吸水性の吹付面において，事前に吸水させてから施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19	吹付厚さが均等であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	吹付厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22	不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23	法肩の吹付にあたり，地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24	ネット（金網等）の留めアンカーの打ち込みは十分に固定されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。	評価	該当																																																																																																			
3	施工に際して，品質に害となる施工面の浮き石等やごみ等を除去してから施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
4	盛土の施工あたり，法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
5	雨水による崩壊が起こらないように，排水対策を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
6	使用材料（肥料・種子・セメント等）の使用量（空袋数等）が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
7	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
8	土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
9	ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
10	ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
11	吹付厚さが均等であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
12	使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
13	施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
14	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
15	使用する材料の種類，品質，配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
16	金属の重ね幅が，10cm以上確保されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
17	金属が破損を生じていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
18	吸水性の吹付面において，事前に吸水させてから施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
19	吹付厚さが均等であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
20	吹付厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
21	圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
22	不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
23	法肩の吹付にあたり，地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
24	ネット（金網等）の留めアンカーの打ち込みは十分に固定されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
25	その他 } 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																			
		【次項あり】																																																																																																				

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ	法面工事【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【現場打ち法枠工関係（プレキャスト法枠工を含む）】</p> <p>26 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>27 アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</p> <p>28 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</p> <p>29 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>30 枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p>31 層間にはく離が無いことが確認できる。</p> <p>32 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p>33 その他 理由： }</p> <p>【ポケット式落石防止工関係】</p> <p>34 ルーフアンカー打ち込みカ所の表土は取り除かれ、岩盤が露出していることが確認できる。</p> <p>35 岩盤への削孔深が設計値以上であることが確認できる。</p> <p>36 孔内に挿入したルーフアンカーの打ち込み状況及び固定されていることが確認できる。</p> <p>37 注入材（セメントミルク）の充填状況が確認できる。</p> <p>38 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p>39 その他 理由： }</p>																																			
		<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																			

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																															
3 出来形 及び出来ばえ	基礎工事及び地 盤改良工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																															
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。																														
		● 評価対象項目 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																
		1 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 2 既成杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 3 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 4 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 5 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 7 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 8 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 9 鉄筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10 ライナープレートの組み立てにあたり、偏芯と歪に配慮して施工していることが確認できる。 11 裏込注入材の圧力などが施工記録により確認できる。 12 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 13 その他 } 理由：					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																
		【地盤改良関係】					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																
		14 施工地盤は不陸整正され、安定剤が路床土と均一に攪拌混合されていることが確認できる。 15 安定剤の散布及び混合時に粉塵等の対策が実施されている。 16 置き換え掘削深さ及び幅は設計図書とおりに確保され、一層の敷均し厚は仕上がり厚20cm以下で十分に締め固められている。 17 サンドドレーン・ペーパードレーン工法では、材料の使用量が記録により確認できる。 18 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 19 セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 20 事前に土質検査を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 21 施行箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 22 その他 } 理由：					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																
		● 判断基準					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。 </div>																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</td> </tr> <tr> <td>50%以内</td> <td>80%以内</td> <td>80%超</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	評 価 値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																		
		50%以内	80%以内	80%超																																			
評 価 値	90%以上	a	ab	b	b																																		
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																		
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																		
	60%未満	bc	c	c	c																																		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																					

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	海岸工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <input type="text"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> コンクリートの圧縮強度を管理し，必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 運搬時間，打設時の投入高さ，締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が，施工条件および気象条件に適しており，定められた条件を満足していることが確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。 コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって，強度確認を行っている 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置きを行っていることが確認できる。 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 工事期間中1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び避難設備の対策を講じていることが確認できる。 その他 <input type="text"/> 理由：<input type="text"/> 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																																												
3 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋上部工事（PC及びRC）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																																												
II 品質	評価結果 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																																												
		<ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <table border="0"> <tr> <td>1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。</td> <td>評価</td> <td>該当</td> </tr> <tr> <td>2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>6 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>7 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>8 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>9 コンクリート打設までに、さび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>10 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>11 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>12 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>13 スパースターの品質及び個数が、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>14 プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>15 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>16 PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>17 プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>18 コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>20 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。）</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>21 その他</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 					1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。	評価	該当	2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9 コンクリート打設までに、さび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13 スパースターの品質及び個数が、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14 プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16 PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17 プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18 コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21 その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。	評価	該当																																																																		
2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
5 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
6 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
7 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
8 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
9 コンクリート打設までに、さび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
10 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
11 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
12 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
13 スパースターの品質及び個数が、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
14 プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
15 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
16 PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
17 プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
18 コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
20 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
21 その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																		
		<ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<ul style="list-style-type: none"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 																																	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																																
	50%以内	80%以内	80%超																																																																	
90%以上	a	ab	b	b																																																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																																																
60%未満	bc	c	c	c																																																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																											
3 出来形 及び出来ばえ	塗装工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																											
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。																										
II 品質	評価結果	● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> 1 塗装作業にあたり，塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2 ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3 天候状況の確認，気温及び湿度の測定を行い，塗装作業を行っていることが確認できる。 4 塗料を使用前に攪拌し容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5 鋼材表面及び被塗装面の汚れ，油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 6 塗料の空き缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7 塗り残し，ながれ，しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8 溶剤部，ボルトの接合部分，構造の複雑な部分について，必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9 塗料の品質が出荷証明書，塗料成績表により，製造年月日，ロット番号，色彩，数量が確認できる。 10 その他 { 理由：} 					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																												
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																												
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以内	80%以内	80%超																																
90%以上	a	ab	b	b																															
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																															
60%以上75%未満	b	bc	c	c																															
60%未満	bc	c	c	c																															

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目				評価 該当																														
		1 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		2 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており，コンクリートの品質（強度，w/c，最大骨材粒径，塩化物総量，単位水量，アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		3 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており，温度，スランプ，空気量等の測定結果が確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		4 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が，当該現場の供試体であることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		5 運搬時間，打設時の投入高さ，締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が，施工条件および気象条件に適しており，定められた条件を満足していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		6 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別，規格が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		7 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		8 坑内観察調査などについて，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		9 計測管理を日々行っており，その結果に基づいた施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		10 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		11 吹付コンクリートの施工にあたって，浮き石等を除いた後に，吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		12 吹付コンクリートを打継ぎする場合は，吹付完了面を清掃した上，湿潤状態で施工していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		13 ロックボルトの定着長が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		14 防水工に防水シートを使用する場合は，ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		15 逆巻きの場合において，側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が働一線上で施工していないことが確認できる。				<input type="checkbox"/>																														
		16 その他 { 理由： }				<input type="checkbox"/>																														
						<div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px; margin: 5px;"></div>																														
		● 判断基準				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	植栽工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> 1 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2 樹木などに損傷，はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 3 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 4 施工完了後，余刺枝の剪定，整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 5 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 6 植生する樹木に応じて，余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 7 添木をぐらつきが無いよう設置していることが確認できる。 8 樹名板を確認しやすい場所に据え付けていることが確認できる。 9 その他 { 理由：} 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px 0;"></div>	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている	
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	「品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で改善指示を行った。」	「品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。」
		● 評価対象項目					評価 該当		
		1 防護柵設置要綱, 視線誘導標設置基準, 道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 2 防護柵等の床掘の仕上がり面において, 地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。 3 防護柵等の基礎工の施工にあたって, 無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 4 防護柵等の支柱の施工にあたって, 既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 5 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して, 施工していることが確認できる。 6 防護柵の支柱の値入長が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7 ガードケーブルを支柱に取り付ける場合, 設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 8 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合, 打設したコンクリートが設計図書の定められた強度以上であることが確認できる。 9 ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用料が, 10%以下であることが確認できる。 10 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 区画線施工後昼間及び夜間の視認性が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12 区画線の施工にあたって設置路面の水分, 泥, 砂塵及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 13 区画線を消去の場合, 表示材(塗料)のみの除去となっており, 路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 14 プライマーの施工にあたって, 路面に均等に塗布していることが確認できる。 15 区画線の材料が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 その他〔理由:					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		● 判断基準							
			ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能				
			50%以内	80%以内	80%超				
		評価値	90%以上	a	ab	b	bc	c	
			75%以上90%未満	ab	b	bc	bc		
			60%以上75%未満	b	bc	c	c		
			60%未満	bc	c	c	c		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。							
		① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみを選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() (%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。							

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	電線共同溝工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。																												
		● 評価対象項目				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e
3 出来形 及び出来ばえ	ほ場整備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。
		● 評価対象項目 評価 該当 【共通】 1 設計図書で定めている材料の品質証明書等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 その他〔理由： 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【整地工】 3 基盤切盛が適切に施工され，基盤の均平度が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 表土厚さが充分確保され，かつ均平度が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 畦畔及び盛土部が十分に締め固められていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは，進行性があり，放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 石礫や雑物が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他〔理由： 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【道路工】 9 盛土の締め固めが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは，進行性があり，放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 敷砂利等が均等で平坦性が良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 その他〔理由： 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【揚排水路工】 13 設計図書で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは，進行性があり，放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く等のおそれがあるクラックのことをいう。） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 コンクリート2次製品等の接合が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 既存施設や付帯構造物との取合せがスムーズに実施できていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17 その他〔理由： 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【管水路工】 18 掘削断面に崩壊・過掘が無く，施工基面が平滑に仕上げられるとともに，埋戻しの締め固め（撒き出し・転圧）が適正に出来ていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 19 管水路の中心線および縦断勾配については，図面どおり適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20 仕切弁・空気弁等の設置位置及び接合が，図面・仕様書どおりに適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 21 パイプ等の材料の保管管理が適切であることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 22 通水試験等が適切に行われ，許容範囲内であることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 23 その他〔理由： 〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【次項あり】						

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																			
3 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事 【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																			
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【暗渠排水工】</p> <p>24 吸水管等の設置が良好であり、且つ適正な水路勾配を有していることが確認できる。</p> <p>25 被覆材が仕様書に定めた品質を有し、雑物等の混入がないことが確認できる。</p> <p>26 表土戻しが適切に施工され、周辺との段差がないことが確認できる。</p> <p>27 その他〔理由：</p> <p>【構造物工】</p> <p>28 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。</p> <p>29 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。</p> <p>30 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>31 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であり、指定強度を満足していることが確認できる。</p> <p>32 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>33 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>34 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。</p> <p>35 その他〔理由：</p> <p>【揚水機場・サイホン】</p> <p>36 ポンプ及び電動機の能力が仕様書等で定められている能力以上の製品であることが確認できる。</p> <p>37 ホンプ及びサイホンの廻り配管は図面等で定められている機能が発揮できる配管であることが確認できる。</p> <p>38 その他〔理由：</p> <p style="text-align: right;">評価 該当</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> </p>																																									
		<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	評 価 値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<table border="1"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</td> </tr> </table>			① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。	② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。	③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
	50%以内	80%以内	80%超																																								
評 価 値	90%以上	a	ab	b	b																																						
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																						
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																						
	60%未満	bc	c	c	c																																						
① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。																																											
② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。																																											
③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100																																											
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																											
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																									

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e
3 出来形 及び出来ばえ	ため池工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている
II 品質	評価結果 <input type="text"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				<input type="checkbox"/> ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。
		● 評価対象項目 【共通】 <ul style="list-style-type: none"> 1 設計図書で定めている材料の品質証明書等が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を講じており、常に、気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 基礎基盤の整形・清掃・湧水処理、及び段切り等が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 基盤処理の施工は、設計図書に従い適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 固化材による地盤改良において、指定材料及び使用量が適切であることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 固化材による地盤改良において、支持力・改良深・攪拌状態が適切であることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 盛土材料は、所定の土質試験を実施し盛土材料として使用できることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 発注者が設計図書にて使用を指定したものを除き、現場に搬入された盛土材料が、監督員が承認したものと同等(現場土質試験)であることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 盛土材料は根株・石等有害物の除去状況が確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 施工基面及び法面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 遮水シートの重ね幅が確保され、適切に接続されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 築堤については、仕様書に従い適切に施工されていることが確認できる。(まき出し、転圧) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 盛土材が適切に保管管理されていることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 湧水処理は適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 構造物周辺の締固め等の処理を適切に行っていることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 付帯構造物は設計図書に基づき適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17 その他〔理由：〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【堤体工】 <ul style="list-style-type: none"> 18 堤体盛土の締固めが適切に施工され、締固め密度や透水性、含水量等の必要項目について管理基準値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 19 両袖部の地山との取付が適切に施工されているのが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20 グラウト工が適切に実施されていることが工事書類等により確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 21 その他〔理由：〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【次項あり】					評価 該当	

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ	ため池工事【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【構造土工】</p> <p>22 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。</p> <p>23 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応制御等）が確認できる。</p> <p>24 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>25 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であり、指定強度を満足していることが確認できる。</p> <p>26 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>27 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>28 有害なクラックが無い。（有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。</p> <p>29 その他〔理由：〕</p> <p>【取水施設】</p> <p>30 水門・バルブ等の施設機械が仕様書等の品質及び仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>31 水門・バルブ等の据付の際に、十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p>32 その他〔理由：〕</p> <p>【耐震工（押え盛土・堤体改良）】</p> <p>33 押え盛土または堤体改良において、締固めが適切に施工され、締固め密度や含水比も管理基準値を満足している。</p> <p>34 盛土材に混合する固化材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>35 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>36 その他〔理由：〕</p>						評価 該当																													
		<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																					

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ II 品質	上水道工事 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div>	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。					ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 【共通】 <ol style="list-style-type: none"> 1 使用材料の品質が写真及び品質証明等で確認できる。 2 掘削（幅，深さ）及び仮設工（水替，土留め工等）が適切に行われており，周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 3 管設置において，管の通り等が良好であり，明示・管防護や防食対策等において適正であることが確認できる。 4 管及び弁栓類の接合・据付において，施工管理基準等に沿って行われていることが確認できる。 5 埋戻しにおいて，設計図書の仕様を満足し適正に施工していることが確認できる。 6 舗装の復旧等が適時行われ，路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 7 品質に関する各種の試験において，資料が整備され，指定の基準を満足していることが確認できる。 8 品質管理写真は適正な作業手順に基づいて撮影され，指定の撮影項目を満足していることが確認できる。 9 通水（水圧）テストの記録が確認できる。 10 X線による検査を行った場合，異常がないことが確認できる。 11 その他〔理由： 					評価 該当 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">[]</td><td style="width: 20px; text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> </table>	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
		【推進工事】 <ol style="list-style-type: none"> 12 管推進に伴う周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 13 立坑の復旧が適切に行われ，路面の沈下，不陸が見られないことが確認できる。 14 薬液注入に伴う管理が適切で，観測井も適切に復旧されていることが確認できる。 15 裏込め注入等の場合，注入圧，注入量などの管理が適切に行われていることが確認できる。 16 推進法線上の地盤沈下について，沈下量の管理を行い，最小限の沈下にとどめていることが確認できる。 17 推進推力について，管理を行い，予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。 18 その他〔理由： 					<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">[]</td><td style="width: 20px; text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">[]</td><td style="text-align: center;">[]</td></tr> </table>	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]										
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
[]	[]																																				
		● 判断基準																																			
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>50%以内</td> <td>80%以内</td> <td>80%超</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	評価値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。 </div>		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
評価値	90%以上	a	ab	b	b																																
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
	60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																			

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e
3 出来形 及び出来ばえ	下水道管工事 (開削(沈埋) 工事, 推進工 事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。
評価結果		● 評価対象項目 【共通】 1 掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 2 材料の品質が, 証明書類で確認できる。 3 管など材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 4 継手の施工が適切に行われていることが確認できる。 5 マンホールブロックの接合部は, 砂利・砂・ゴミ等を取り除き水密に仕上げられていることが確認できる。 6 吊り込み時, 掘付時等二次製品の品質に影響なく適切に施工していることが確認できる。 7 インパットが適切に施工されていることが確認できる。 8 取付管の線形, 勾配が適切に施工されていることが確認できる。 9 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。 10 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており, コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 11 コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており, 温度, スランプ, 空気量等の測定結果が確認できる。 12 コンクリートの養生が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であり, 指定強度を満足していることが確認できる。 14 鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15 アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16 プラント出荷時, 現場到着時, 舗装時等において, アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 17 付帯工作物の復旧が適切に行われている。 18 その他〔理由: 〕						
		【開削(沈埋)工事】 19 土留め工の施工が適切で, 周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 20 埋戻しにおいて, 設計図書の仕様を満足し適正に施工していることが確認できる。 21 埋め戻し材料について, 良質な土砂又は設計図書で指定されたもので監督員の承諾を得たものを使用していることが確認できる。 22 砂基礎の締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。 23 床堀箇所等の湧水及び滞水等は, 排除して施工していることが確認できる。 24 舗装の復旧等が適時行われ, 路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 25 その他〔理由: 〕						
		【次項あり】						

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形 及び出来ばえ	下水道管工事 (開削(沈埋) 工事, 推進工 事) 【つづき】	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																													
II 品質		<p>● 評価対象項目</p> <p>【推進工事】</p> <p>26 管推進に伴う周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。</p> <p>27 薬液注入材が適正であり適切に注入されたことが確認できる。</p> <p>28 滑材, 推進添加剤, 裏込め注入材が適正であり適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>29 推進機の機能が土質に適合し推進力のチェックなどが行われていることが確認できる。</p> <p>30 推進精度の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>31 鞘管において, スペーサー及び中込注入が適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>32 その他〔理由:]</p>					評価 該当																														
		<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100</p> <p>④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。</p>																																			

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形 及び出来ばえ	下水道管工事 (管更生工事, マンホール更生 工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																													
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 検査 員が修補指示を行っ た。																												
評価結果		● 評価対象項目 1 材料の品質が, 証明書類で確認できる。 2 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 3 管内洗浄が十分であることが確認できる。 4 既設管の状態を確認し補修等行っていることが確認できる。 5 適切な温度で施工されていることが確認できる。 6 適切な圧力で施工されていることが確認できる。 7 硬化時間が適切であることが確認できる。 8 圧縮強度試験に使用した供試体が当該現場の供試体であり, 指定強度を満足していることが確認できる。 9 その他〔理由:					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() (%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ	下水道管工事 (マンホール浮上防止対策工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																											
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
評価結果		● 評価対象項目 1 掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 2 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足し適正に施工していることが確認できる。 3 埋め戻し材料について、良質な土砂又は設計図書で指定されたもので監督員の承諾を得たものを使用していることが確認できる。 4 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 5 材料の品質が、証明書類で確認できる。 6 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 7 吊り込み時、据付時等二次製品の品質に影響なく適切に施工していることが確認できる。 10 アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11 プラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 12 付帯工作物の復旧が適切に行われている。 13 その他〔理由:					評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																												
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以内	80%以内	80%超																																
90%以上	a	ab	b	b																															
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																															
60%以上75%未満	b	bc	c	c																															
60%未満	bc	c	c	c																															

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	下水道管工事 (マンホール蓋 等改築工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																												
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 検査 員が修補指示を行っ た。																												
評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		● 評価対象項目 1 材料の品質が, 証明書類で確認できる。 2 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。 3 受枠の高さ調整が適切に施工できていることが確認できる。 4 マンホールブロックの接合部は, 砂利・砂・ゴミ等を取り除き水密に仕上げられていることが確認できる。 6 既存施設や付帯構造物との取合せがスムーズに実施できている。 7 その他〔理由: _____〕				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(_____ %) = 該当項目数(_____) / 評価対象項目数(_____) × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>																													
		● 判断基準																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																
3 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事 (浚渫・床掘工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																
II 品質		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。</p> <p>● 評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <p>1 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>2 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>3 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>4 材料等の品質に異常値が想定される場合，品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる</p> <p>5 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p>6 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>7 作業船が十分管理下におかれ，統率されていることが確認できる。</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p>8 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p>9 潮位及び潮流，波浪等の状況を十分把握して施工されている。</p> <p>10 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p>11 土捨場土量に制約がある場合，適切な土量で，許容範囲に精度よく平坦に仕上がっている。</p> <p>12 土捨場に制約がなく，深掘しても周辺構造物に影響がない場合，今後の埋没も考慮し，深く平坦に仕上がっている。</p> <p>13 土質に対して，適正な船舶，機械を使用し，周辺環境への影響を最小限に抑えている。（大型船による施工で，作業日数短縮等も含む。）</p> <p>14 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して，漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p>15 浚渫又は床掘工において，作業現場の土質条件，海象条件，周辺海域の利用状況等を考慮して，効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</p> <p>16 土砂運搬において，施工の効率，周辺海域の利用状況を考慮して，土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</p> <p>17 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</p> <p>18 砲弾等の爆発物が発見された場合，関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</p> <p>19 その他〔理由：</p>					<input type="checkbox"/> ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																															
評価結果		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%以内</td> <td>80%以内</td> <td>80%超</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以内	80%以内	80%超		評価値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p>	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以内	80%以内	80%超																																					
評価値	90%以上	a	ab	b	b																																			
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																			
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																			
	60%未満	bc	c	c	c																																			
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																								

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形 及び出来ばえ	港湾築造工事 (地盤改良工 事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																													
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。																												
評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px auto;"></div>		● 評価対象項目 【共通】 <ol style="list-style-type: none"> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 材料等の品質に異常値が想定される場合，品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 作業船が十分管理下におかれ，統率されていることが確認できる。 【地盤改良関係】 <ol style="list-style-type: none"> 改良材料の管理記録が整理され，品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき，設計図書の仕様を満足している。 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 サンドドレーン・砕石ドレーン，サンドコンパクションパイル及びびロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに，打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され，排水効果が維持されていることが確認できる。 深層混合処理の打込記録等から，設計図書に定められている事項が確認できる。 前記以外の改良工法について，記録から設計図書に定められている事項が確認できる。 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 その他〔理由：〕 																																			
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																
3 出来形及び出来ばえ II 品質	港湾築造工事 (マット、捨石、均し工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ● 評価対象項目 【共通】 1 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 2 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 3 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 4 材料等の品質に異常値が想定される場合, 品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 5 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 6 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 7 作業船が十分管理下におかれ, 統率されていることが確認できる。 【マット, 捨石, 均し関係】 8 捨石, 被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 9 マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 10 捨石, 被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され, 記録により確認できる。 11 裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損がなく施工され, 記録により確認できる。 12 捨石, 被覆石等の石材は, 扁平細長でなく, 風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 13 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 14 マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 15 捨石, 被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 16 その他〔理由:					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。																															
評価結果		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10px; height: 20px;"></td> <td style="width: 10px; height: 20px;"></td> </tr> </table>							評価 該当		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10px; height: 20px;"></td> <td style="width: 10px; height: 20px;"></td> </tr> </table>																													
		● 判断基準 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; margin-right: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%以内</td> <td>80%以内</td> <td>80%超</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以内	80%以内	80%超	評価値	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() (%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以内	80%以内	80%超																																					
評価値	90%以上	a	ab	b	b																																			
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																			
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																			
	60%未満	bc	c	c	c																																			
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																						

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形 及び出来ばえ	港湾築造工事 (本体：杭及び 矢板, 控工 事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																													
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。					ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 検査 員が修補指示を行っ た。																												
		● 評価対象項目 【共通】 1 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 材料等の品質に異常値が想定される場合, 品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 作業船が十分管理下におかれ, 統率されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 【本体：杭及び矢板, 控工関係】 8 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 鋼材の保管にあたり, 変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう, 適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 杭及び矢板に損傷及び修補痕がなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され, かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け, ボルトで十分締め付け矢板護岸に密着させていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 その他〔理由： _____〕 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準					① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(_____ %) = 該当項目数(_____) / 評価対象項目数(_____) × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																
3 出来形 及び出来ばえ II 品質 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 30px; height: 20px; margin-left: 10px;"></div>	港湾築造工事 (本体：ケーソン据付, ブロック据付工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																																
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。						ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																																
<p>● 評価対象項目</p> <p>【共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 材料等の品質に異常値が想定される場合，品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 作業船が十分管理下におかれ，統率されていることが確認できる。 <p>【本体：ケーソン据付，ブロック据付関係】</p> <ol style="list-style-type: none"> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し，仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 ケーソン据付に先立ち，気象・海象等を十分調査し，据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 ケーソン据付等及び中詰めにおいてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 コンクリートブロック据付に先立ち，気象・海象等を十分調査し，据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 ケーソンえい航に先立ち，気象・海象等を十分調査し，適切な時期に選定されていることが確認できる。 ケーソンえい航に先立ち，上蓋，安全ネット又は吊り足場等を設置し，墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 ケーソン仮置き，据付の時期について，設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。 その他〔理由： <div style="float: right; margin-top: 20px;"> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> </div>						<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																																		
<p>● 判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	評価値	90%以上	a	ab	b	b		75%以上90%未満	ab	b	bc	bc		60%以上75%未満	b	bc	c	c		60%未満	bc	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以内	80%以内	80%超																																					
評価値	90%以上	a	ab	b	b																																			
	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																			
	60%以上75%未満	b	bc	c	c																																			
	60%未満	bc	c	c	c																																			
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																								

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事 (コンクリート工事)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については、「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 ばらつき80%以下 ばらつき80%を超える ばらつきで判断不可能	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 【共通】 <ol style="list-style-type: none"> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 航行船舶に影響がないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 <ol style="list-style-type: none"> 生コンは適切な配合設計及び品質管理等が出来る生コン工場で生産された製品であることが確認できる。 コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、強度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 コンクリート一層の打設厚さは50cm以下で均等厚に連続して打設されていることが確認できる。 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの種類及び養生方法が、施工条件および気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 有害なクラックが無い。(有害なクラックとは、進行性があり、放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招くおそれがあるクラックのことをいう。) その他〔理由： 〕 																																		
		● 判断基準 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。 </div>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	建築工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> 1 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ，証明書が整備なされていることが確認できる。 2 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ，証明書が整備なされていることが確認できる。 3 機器等（設備等）の機能が設計図書等との適切性確認ができ，証明書が整備なされていることが確認できる。 4 室内の塵芥処理等が適切に行われ，納まりの事前検討も十分実施され，良質な施工が伺えることが確認できる。 5 その他〔理由： 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e		
3 出来形 及び出来ばえ	維持工事（清掃工、除草工、附属物工、除雪、応急処理等）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている		
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 建造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 <p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・・ a</p> <p>該当5項目・・・・ ab</p> <p>該当4項目・・・・ b</p> <p>該当3項目・・・・ bc</p> <p>該当2項目以下・・・・ c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>						<p>該当</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
II 品質	評価結果	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>						<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	
	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e		
	修繕工事（橋脚補修、耐震補強、落橋防止等）	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている		
	評価結果	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>						<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	
		<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 建造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 その他〔理由：〕 <p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・・ a</p> <p>該当5項目・・・・ ab</p> <p>該当4項目・・・・ b</p> <p>該当3項目・・・・ bc</p> <p>該当2項目以下・・・・ c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>						<p>該当</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e													
3 出来形 及び出来ばえ	機械設備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている													
		<p>● 評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 2 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 3 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 4 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 5 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 6 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 7 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 8 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 9 小配管、電気配線、配管を承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 10 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 11 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 12 機器の配置を点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 13 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 14 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 15 バルブ類の平時の状態を示すラベルなどを見やすい状態に表示していることが確認できる。 16 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 17 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 18 建造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 19 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 20 その他 21 理由： [] 						評価 該当 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。											
II 品質	評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 30px; margin-left: 20px;"></div>	<p>● 判断基準</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>評価値が90%以上</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上90%未満</td> <td>ab</td> </tr> <tr> <td>評価値が70%以上80%未満</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%以上70%未満</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%未満</td> <td>c</td> </tr> </table>							評価値が90%以上	a	評価値が80%以上90%未満	ab	評価値が70%以上80%未満	b	評価値が60%以上70%未満	bc	評価値が60%未満	c	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>		
評価値が90%以上	a																				
評価値が80%以上90%未満	ab																				
評価値が70%以上80%未満	b																				
評価値が60%以上70%未満	bc																				
評価値が60%未満	c																				
		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみを選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </div>																			

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e		
3 出来形 及び出来ばえ	電気設備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている		
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 その他 <div style="margin-left: 20px;"> [理由： <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 30px; display: inline-block;"></div>] </div>				評価 該当 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	[品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	[品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
		<p>● 判断基準</p> 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ ab 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ bc 評価値が60%未満・・・・・・・・ c		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>						

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																																								
3 出来形 及び出来ばえ	通信設備工事 受変電設備工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																																								
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 2 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 3 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 6 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 7 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 8 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 9 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 10 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 11 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 12 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 13 その他 { 理由：} 				<p>評価 該当</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/></td><td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																															
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																												

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																	
3 出来形 及び出来ばえ	コンクリート二 次製品工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																	
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 製品の損傷がない。又は、損傷部は補修していることが確認できる。 2 側溝本体及び蓋等の設置は路面（計画高さ等）と段差が生じないよう平坦でゆれ等がないことが確認できる。 3 側溝・BOX等の継ぎ目部分の施工は設計図書に基づき施工され水密性を保ち段差等がないことが確認できる。 4 既存施設等へのスリ付けが良いことが確認できる。 5 管の下面及びカラーの周辺は空隙・隙間等が生じないよう施工していることが確認できる。 6 設計図書に基づき二次製品は規格値を満足していることが確認できる。 7 緊張及びグラウト管理が適切に実施され記録により確認できる。 8 その他〔理由： 					<p>評価 該当</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">[</td><td style="border: none;">[</td></tr> <tr><td style="border: none;">]</td><td style="border: none;">]</td></tr> </table>	[[[[[[[[[[[[[[]]	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、監督 員が文書で改善指示 を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 員が修補指示を行っ た。</p>
[[
[[
[[
[[
[[
[[
[[
]]																								
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p>																					

評定様式7

考 査 項 目 別 運 用 表

(検 査 員)

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e													
3 出来形 及び出来ばえ	河川浚渫工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている													
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 2 浚渫工の施工上の注意事項（設計図書による）が守られていることが確認できる。 3 着工前の各断面写真等が整理され、断面確認が出来ることが確認できる。 4 掘削土の搬出において運搬車からの漏れだし等がない。また、路面清掃が行われていることが確認できる。 5 産業廃棄物管理表（マニフェスト）が整理されていることが確認できる。 6 その他〔理由： 					<p>評価 該当</p> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>													<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																	

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																					
3 出来形及び出来ばえ	水門等鋼構造物	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																					
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 30px; margin: 5px;"></div>	<p>● 評価対象項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 材料、部品の品質照合の書類（ミルシートとラベル照合等）を整理しており品質の確認ができる。 2 単体機械製品の機能及び性能確認試験について、試験書類を整理しており品質の確認ができる。 3 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 4 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理しており品質の確認ができる。 5 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 6 水密性が確保されていることが確認できる。 8 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 9 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 10 その他〔理由： 〕 					<p>評価 該当</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">□</td><td style="width: 20px; text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">□</td><td style="text-align: center;">□</td></tr> </table>	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
□	□																												
		<p>● 判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ ab</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・ bc</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象とする項目のみ選択する。</p> <p>② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																									

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	管水路工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> 設計図書で定めている品質管理が実施されていることが確認できる。 材料の品質が，証明書類で確認できる。 中心線の通りがよい。 設計図書で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できることが確認できる。 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認されている。 地盤面，基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 管の吊り込み，据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 その他〔理由： 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	治山鋼製土留工	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ	治山落石防護工	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <input type="text"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																												
		● 評価対象項目				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

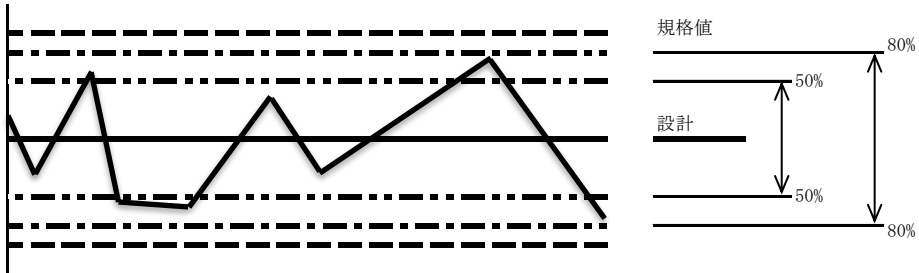
考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	治山固定工 (モ ルタル)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れてい る	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れてい る	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣って いる	品質管理が劣っている																												
II 品質	評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px;"></div>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，監督 員が文書で改善指示 を行った。	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため，検査 員が修補指示を行っ た。																												
		● 評価対象項目 <ol style="list-style-type: none"> モルタル打設時に必要な供試体を採用し，引張強度・空気量等が確認できる。 モルタル供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件及び気象条件に適合した運搬・打設（注入）・養生等が，定められた条件を満足していることが確認できる。 材料のモルタル等が空隙もなく，適切に充填されていることが確認できる。 地山との取り合わせが適切に行われていることが確認できる。 その他〔理由： 〕 				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																														
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ % ）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

考查項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																												
3 出来形 及び出来ばえ	治山固定工 (ロープネット)	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																												
II 品質		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については, 「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 監督 員が文書で改善指示 を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため, 検査 員が修補指示を行っ た。																												
評価結果 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		● 評価対象項目 1 材料の挿入が適切であることが確認できる。 2 部材の配置及び端部処理は適切であることが確認できる。 3 アンカーがある場合はアンカーの規格と施工長が確認できる。 4 ネットが緩みなく, 確実に固定されていることが確認できる。 5 ワイヤロープの規格が品質保証書等で確認できる。 6 その他〔理由:				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ① 当該「評価対象項目」のうち, 対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() (%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100 ④ なお, 評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。 </div>																													
		● 判断基準																																		
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以内	80%以内	80%超																																	
90%以上	a	ab	b	b																																
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																
60%未満	bc	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

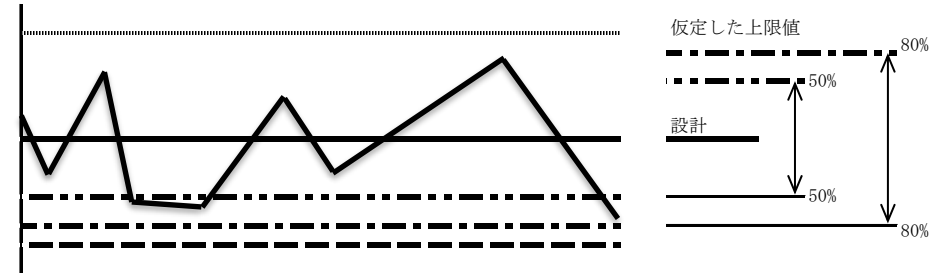
考査項目	工 種	a	ab	b	bc	c	d	e																													
3 出来形 及び出来ばえ	上記以外の工事 又は合併工事	品質管理が優れている	品質管理がbより優れている	品質管理がやや優れている	品質管理がcより優れている	他の評価に該当しない	品質管理がやや劣っている	品質管理が劣っている																													
II 品質	評価結果 <input type="text"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 「関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験」 ※最終の請負代金額が500万円未満の工事については，「ばらつきで判断不可能」を選択する。 ※ばらつきの判断は別紙－4参照。				ばらつき50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつき80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。																													
		● 評価対象項目 1 その他〔理由：〕 2 その他〔理由：〕 3 その他〔理由：〕 4 その他〔理由：〕 5 その他〔理由：〕 6 その他〔理由：〕 7 その他〔理由：〕 8 その他〔理由：〕				評価 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																															
		● 判断基準				① 当該「評価対象項目」のうち，対象とする項目のみ選択する。 ② 評価項目数を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） × 100 ④ なお，評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>ab</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>bc</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>bc</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	90%以上	a	ab	b	b	75%以上90%未満	ab	b	bc	bc	60%以上75%未満	b	bc	c	c	60%未満	bc	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以内	80%以内	80%超																																		
90%以上	a	ab	b	b																																	
75%以上90%未満	ab	b	bc	bc																																	
60%以上75%未満	b	bc	c	c																																	
60%未満	bc	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																			

※ 管理図の場合

上限値・下限値が設定されている場合

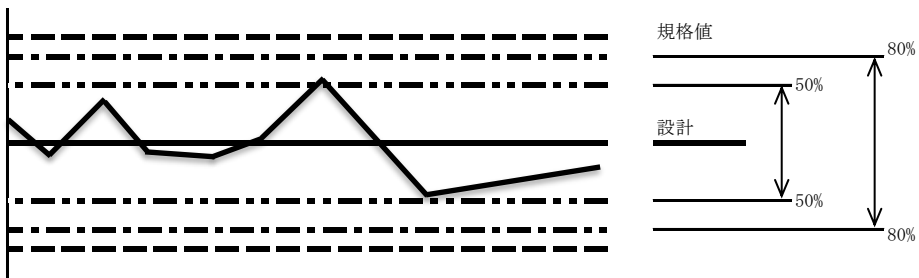


下限値のみ設定されている場合



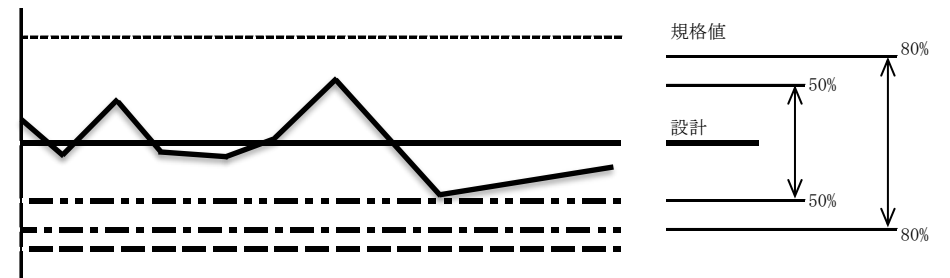
ばらつきが50%以内と判断される場合

※ 値の内、8割以上が50%以内であり、かつ残りの値すべてが80%以内の時



ばらつきが50%以内と判断される場合

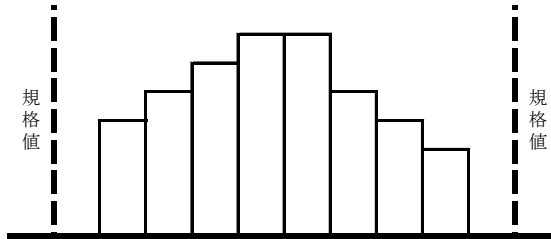
※ 値の内、8割以上が50%以内であり、かつ残りの値すべてが80%以内の時



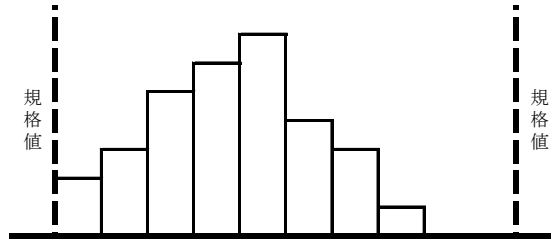
※ ばらつきが80%以上と判断されるとは、値の2割以上が80%を超えている時（8割未満の値があっても、2割以上が80%を超えている時）

※ 度数度またはヒストグラムの場合

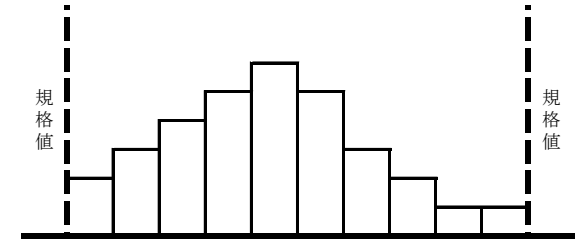
ばらつきが少ない



ばらついている



ばらつきが大きい



考 査 項 目 別 運 用 表

3 出来形及び出来ばえ	工 種	a	b	c	d	
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている	
III 出来ばえ	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物工事・砂防構造物工事・海岸工事・トンネル工事	●評価対象項目 1 コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 コンクリート構造物の通りが良い。 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 クラックが無い。 5 漏水がない。 6 全体的な美観が良い。	該当	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
		<input type="checkbox"/> 土工事（盛土・築堤工事・ため池等）	●評価対象項目 1 仕上げが良い。 2 通りが良い。 3 天端及び端部の仕上げが良い。 4 構造物へのすりつけなどが良い。 5 全体的な美観が良い。	該当	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
			<input type="checkbox"/> 切土工事	●評価対象項目 1 規定された勾配が確保されている。 2 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 3 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 4 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 5 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 6 全体的な美観が良い。	該当	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
				<input type="checkbox"/> 護岸・根固・水制・コンクリート二次製品工事	●評価対象項目 1 通りが良い。 2 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。 3 天端及び端部の仕上げが良い。 4 既設構造物とのすり付けが良い。 5 全体的な美観が良い。	該当
		<input type="checkbox"/> 鋼橋工事	●評価対象項目 1 表面に補修箇所が無い。 2 部材表門に傷及び錆が無い。 3 溶接に均一性がある。 4 塗装に均一性がある。 5 全体的な美観が良い。		該当	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
			<input type="checkbox"/> 地すべり防止・鋼製土留工事	●評価対象項目 1 地山との取り合いが良い。 2 天端及び端部の仕上げが良い。 3 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 全体的な美観が良い。	該当	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 舗装工事	●評価対象項目 1 舗装の平坦性が良い。 2 構造物の通りが良い。 3 端部処理が良い。 4 構造物へのすりつけ等が良い。 5 雨水処理が良い 6 全体的な美観が良い。		該当	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
		<input type="checkbox"/> 法面工事、固定工（モルタル・ロープネット）	●評価対象項目 1 通りが良い。 2 植生、吹付等の状態が均一である。 3 端部処理が良い。 4 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 5 全体的な美観が良い。	該当	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	<input type="checkbox"/> 基礎工事（地盤改良等を含む） <input type="checkbox"/> 地盤改良		●評価対象項目 1 土工関係の仕上げが良い。 2 通りが良い。 3 天端及び端部の仕上げが良い。 4 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。	該当	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d	

考 査 項 目 別 運 用 表

審査項目	工 種	a	b	c	d
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている
3 出来形及び出来ばえ III 出来ばえ 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	<input type="checkbox"/> コンクリート橋上部工事	●評価対象項目 1 コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 コンクリート構造物の通りが良い。 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 支承部の仕上げが良い。 5 クラックが無い。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 塗装工事（工場塗装を除く）	●評価対象項目 1 塗装の均一性が良い。 2 細部まできめ細やかな施工がされている。 3 補修箇所が無い。 4 ケレンの施工状況が良好である。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 植栽工事	●評価対象項目 1 樹木の活着状況が良い。 2 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 3 支柱の取り付けが堅固である。 4 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> 防護柵（網）工事	●評価対象項目 1 通りが良い。 2 端部処理が良い。 3 部材表門に傷及び錆が無い。 4 既設構造物とのすり付けが良い。 5 きめ細やかに施工されている。 6 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 標識工事	●評価対象項目 1 設置位置に配慮がある。 2 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 3 標識板の支柱に変色が無い。 4 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 区画線工事	●評価対象項目 1 塗料の塗布が均一である。 2 視認性が良い。 3 接着状態が良い。 4 施工前の清掃が入念に実施されている。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> 電線共同溝工事	●評価対象項目 1 歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 2 プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 3 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 管路の通り等の仕上がりが良好である。 5 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	<input type="checkbox"/> ほ場整備工事	●評価対象項目 1 付属施設（水口等）に細心の注意が払われている。 2 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 3 構造物の通りが良く、取合せも良い。 4 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	<input type="checkbox"/> ため池工事	●評価対象項目 1 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 2 指定された勾配が確保され、通りが良く、仕上がりも良い。 3 構造物へのすりつけ等が良い。 4 全体的な美観が良い。		該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d

考 査 項 目 別 運 用 表

3 出来形及び出来ばえ	工 種	a	b	c	d
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている
III 出来ばえ 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	上水道工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 弁栓類の据付及び鉄蓋類のすり付けがよく、仕上がりが良い。 2 歩道及び車道の舗装（仮舗装含む）の勾配が適切で、有害な段差が無く、平坦性が良い。 3 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4 管路の通り等の仕上がりが良好であり、維持管理への配慮がなされている。 5 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	下水道工事（開削（沈埋）工事、推進工事）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 管路の通りが良い。 2 マンホールの仕上げが良い。 3 インパートの仕上げが良い。 4 舗装の平坦性が良い。 5 マンホール蓋及び他の構造物へのすり付けが良い。 6 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	下水道工事（圧送管工事）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 管路の施工が良い。 2 空気井等の設置位置が適切である。 3 マンホールの管口の接続が良い。 4 舗装の平坦性が良い。 5 マンホール蓋等へのすり付けが良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	下水道工事（管更生工事、マンホール更生工事）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 管口の仕上げがよい。 2 内面仕上げの状態が良い。 3 しわ、膨れがない。 4 嵌合、融着の状態がよい。 5 取付管口処理の状態が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	下水道工事（マンホール浮上防止対策工事）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 2 舗装の平坦性が良い。 3 マンホール蓋及び他の構造物へのすり付けが良い。 4 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	下水道工事（マンホール蓋等改築工事）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 マンホール蓋のガタツキが無い。 2 内面仕上げの状態が良い。 3 舗装の平坦性が良い。 4 マンホール蓋及び他の構造物へのすり付けが良い。 5 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	港湾築造工事（海岸築造工事を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 構造物等の通りが良い。 2 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 3 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 4 構造物等のきめ細やかな施工がなされている。 5 全体的な美観が良い。 6 クラックがない。（コンクリート工事が含まれる場合） 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	港湾浚渫工事（地盤改良工事を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 2 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 3 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 4 浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	ブロック製作工事（ケーソン陸上製作工事を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 コンクリート構造物の表面状態が良い。 2 コンクリート構造物の通りが良い。 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4 クラックがない。 5 全体的な美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 該当 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d

考 査 項 目 別 運 用 表

審査項目	工 種	a	b	c	d
		出来ばえが優れている	出来ばえがやや優れている	他の評価に該当しない	出来ばえが劣っている
3 出来形及び出来ばえ III 出来ばえ 評価結果 <div style="border: 2px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	建築工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 建築物の通り、形状が良い。 2 仕上げの均一性、平坦性が良い。 3 機能面での配慮が適切である。 4 防水の納まりが良好である。 5 建具の取り付け、作動が良い。 6 関連工事との取り合いが良い。 7 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d
	維持修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 小構造物等にも注意が払われている。 2 きめ細やかな施工がなされている。 3 既設構造物とのすり付けが良い。 4 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・b 該当1項目・・・c 該当項目なし・・・d
	機械設備工事、水門等鋼構造物	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 2 きめ細やかな施工がなされている。 3 土木構造物、既設設備等とのすり付けが良い。 4 溶接、塗装、組立て等にあたって、細部にわたる配慮がなされている。 5 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
	電気設備工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 きめ細やかな施工がなされている。 2 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 4 ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 5 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	通信設備工事、受変電設備	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 2 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 4 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 5 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
	管水路工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 管の通りが良い。 2 コンクリート構造物の表面状態が良い。 3 コンクリート構造物の通りが良い。 4 コンクリート構造物にクラックが無い。 5 全体的な美観が良い。 		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
上記以外の工事 または合併工事	<ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 1 項目理由 2 項目理由 3 項目理由 4 項目理由 5 項目理由 <p>※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>		該当 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d 	